

ようこそ私立幼稚園へ

神奈川県私立幼稚園連合会で発行している会報「神私幼」父母の会版を
 加盟園保護者の皆様にお届けします。



いましかないこの時間を大切に

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会
 会長 スキーツ由佳

各園の園長先生をはじめ教職員の皆様、関係者の方々には、日頃より、より良い幼児教育のために力を尽くしていただき、心より感謝申し上げます。

本年度、神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の会長を務めさせていただきます、スキーツ由佳と申します。

6月に行われた委員総会において、各地区を代表する父母の会連合会の常任委員（役員）9名が決まり、これまで先輩方が築き上げてこられた父母の会を引き継ぎさせていただくことになりました。初対面とは思えないほど、子どもや地域のなげない日々の話をしながら賑やかに会合を終え、「子どもを持つ」という共通項がどれほど大きな力になり得るかを再認識しました。先生方や事務局からのご指導・ご協力を仰ぎながら、皆様のお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

この10月から始まる幼児教育・保育の無償化。ありがたく制度の恩恵を受ける一方で、私たちは、子どもの心の安定の基盤が家庭で育まれることを忘れず、いまだからこそ子どもたちが遭遇する喜びやつまづきを受け止めたり、励ましたりしながら、ともに成長していければと思います。

父母の会連合会では、子どもたちの育ちと父母自身の幼児教育に対する意識の向上の一助にさせていただけるよう、研修大会等を開催しております。公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会は、加盟園数583園、総園児数は約10万4千人を超える、東京都について全国2番目の規模であることから、より多くの皆様に積極的にご参加・ご意見いただければ幸いです。

子どもたちとともに、笑顔いっぱいの健やかな一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



子どもは子どもの中で育つ

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会
 会長 小澤 俊通

この4月にお子様が入園・進級して、9ヶ月が過ぎました。お子様は元気に幼稚園に通っておられますか。大人にとっても新しい世界に入る事は緊張の連続です。子ども達は小さな心で一日一日を乗り越え、今では幼稚園の中で伸び伸びと過ごしていることでしょうか。それは何と素晴らしい事ではないでしょうか。人生のスタートラインに立ち、力強く歩んでいる子ども達に大きな拍手を送りたいと思います。

さて、神奈川県内には約720の幼稚園がありますが、その内9割が私立の幼稚園です。さらに在園している園児の95%以上が私立幼稚園の園児です。つまり、県内の幼児教育は、ほぼ私立幼稚園が担っていると言っても過言ではありません。

保護者の皆様は、それぞれの家庭の教育観とお子様の姿に合わせて、通われる私立幼稚園を選ばれました。毎日の幼稚園生活から、きっとこの幼稚園にして良かったと思われていることでしょう。

幼稚園の設置基準では、クラス数に合わせた「園庭の広さ」が義務づけられています。満3歳を過ぎると、子どもの活動範囲は大きく広がります。十分に屋外で体を動かすには、「園庭」が必要です。ロバート・フルガムが「人生の全ては幼稚園の砂場で学んだ」と著書に記したように、どのような教育環境を子ども達に与えるかは、保護者の責任でもあります。しかし、そのような教育環境を支える保護者の経済的な負担は決して軽いものではありません。その経済的な負担を大幅に軽減するべく、「幼児教育の無償化」は実施されました。長年の要望活動が実現したことは大きな喜びであります。

また、文部科学省の調査で、幼稚園に通うご家庭の42%は母親も仕事を持っている事がわかりました。母親の働き方は様々ですが、今の社会では「働いていても幼稚園へ」の流れは自然のものとなりました。県内の90%以上の幼稚園が「預かり保育」を実施しており、その充実にも努めています。お子様との時間を大切にしながら、幼稚園という良質な幼児教育を実感して頂ければ幸いです。

やがて子ども達は成長するにつれ、親から離れて自立していきます。今は大変でも、後で振り返ってみると、「子育て」の時間はどれほど貴重であったか気づかれる事でしょう。

どうぞ、「子どもは子どもの中で育つ」ことを信じて、毎日の子育てを楽しんで下さい。これからも、私立幼稚園を応援して下さい。心からお願い申し上げます。

県父母連委員総会報告

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の委員総会が6月13日にながわようちえん会館会議室で開催され、令和元年度常任委員が下記のとおり選出されました。よろしくお願いたします。

令和元年度 父母連常任委員名簿

役職	氏名	園名(協会)
会長	スキーツ由佳	橘幼稚園(横浜)
副会長	長山 佐希子	八幡橋幼稚園(横浜)
副会長	加々美 京子	みゆき幼稚園(川崎)
庶務	野田 智美	はやし幼稚園(厚木)
庶務	平岡 牧子	東住吉幼稚園(川崎)
会計	萱野 万紀子	杉之子幼稚園(横浜)
委員	石渡 智容美	認定こども園 湘南マドカ幼稚園(茅ヶ崎)
委員	角田 朋子	聖マリア幼稚園(逗葉)
監事	千葉 芳枝	横浜れんげ幼稚園(横浜)



『コミュニケーションの大切さ、伝える力・聴く力 でもその前に、思い出して』

すがすがしい秋晴れの中、会場となりました神奈川県立音楽堂には、早朝にもかかわらず、県内全域より大変多くの会員の皆様にお集まりいただき、大盛況の中開催されました。

はじめに、父母連・スキーツ由佳会長より「一人の母親としての率直な気持ち」が非常に共感をよび、あたたかい挨拶があり、続いて県連・小澤俊通会長より「今年度10月より施行された幼児教育・保育の無償化の課題改善（本当の意味での無償化の実現）と子どもたちの未来がより明るいものとなるよう、家庭・幼稚園・地域社会で連携していく」との挨拶がありました。ご来賓の副知事・首藤健治様より、今日の幼稚園教育に対するご理解あるお言葉と共に「かながわ子ども未来プラン」のさらなる充実など、次の時代に確実なバトンをつなぐという、心強いご挨拶をいただきました。県議会議長・梅沢裕之様には、ご自身の経験を振り返り、幼児教育の大切さ、子ども同士だけでなく親同士のコミュニケーションの重要性をお話いただきました。また、私立学校審議会会長・牧島功様には、グローバル化する中で、たくさん文化や個性を認め合う社会づくりのために、今何が必要か、などお話いただき、様々な事を見つめ直すきっかけをいただいたように思います。

開会式が終了し、県連総務部次長・野末晃秀先生から「アンディ」こと、安東弘樹さん（フリーアナウンサー）の紹介がありました。さわやかな笑顔の安東さんの登場に、元TBSアナウンサーでテレビでもおなじみということもあり、会場は大きな拍手が沸き起こりました。安東さんはとても気さくで明るく、会場はあっという間に安東さんの話に引き込まれました。



今回の講演テーマの中にある「でもその前に、思い出して」とは何か？安東さんの幼少期の記憶に深く刻まれたエピソードが非常に大きく関係しています。安東さんは2歳頃に住んでいた家の間取りを言えるくらい、記憶力がいいそうです。（ご本人は謙遜して、記憶というより感覚で残っている、とお話されていました）特にその時々感じた感情は強烈に残っているそうです。

安東さんは都合上、途中入園だった初日に登園拒否、門から先生に担がれて教室に入ったそうです。その時に履いていた長靴を先生に誉められたそうですが、「長靴と幼稚園に行きたくな



安東弘樹さん
(フリーアナウンサー)

いという気持ちは関係ない！」と、意識を逸らそうとする先生に反発し、気持ちを全く切り替える事ができなかったそうです。このエピソードを聞いて、うちの子も同じだったと思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ある時、粘土で制作をして先生に見せたところ、先生は掃除をされていてどうしても手を放せなかったからか、安東さんの粘土作品を全く見ず、「上手だね～すごいね～」と言ったそうです。安東さんはとてもショックを受けると同時に、今まで褒められた事に対しても疑念を抱いてしまいました。同じようなエピソードで、安東さんが熱心にお母様に話し掛けているのに、お母様は新聞から目を離さず受け答えをされた事があったそうです。このような出来事から、安東さんはどんな時も話を聞く時は「必ず相手としっかり対峙する」という事を徹底しているそうです。物理的にどうしても難しい時は「～してから聞かぬ」など声をかけ、後になっても、必ず相手に100%意識を向け、目を見て会話するようにしているそうです。

子どもの感受性はとても豊かで繊細です。大人にとって些細な事も、子どもにとっては重大な事もあります。意識が自分に向いていない事を感じると、不信感を募らせます。だからこそ、たとえ1分でも全力で子どもに向き合う時間を作る事、そして子どもの気持ちに共感する事、感情を吸収してあげる事が非常に重要であると考え、ご自身も実践されているそうです。また、どんな時もどのような相手にも、敬意や愛情を持って接するという事もお話されており、これは親子関係のみならず、夫婦、仕事、地域社会など様々な相手に共通して言えるとても大切な事だと感じました。

人は様々な事を忘れてしまいます。悲しい思いをした事も、いつしか自身も同じ事を誰かにしてしまう事もあります。お仕事柄、様々な業種、立場、年齢の方と接してきた安東さんの言葉には非常に重みがあり、母として、人としてハッとさせられ、自分自身を見直すきっかけにもなりました。昨今、SNSの発達により、コミュニケーションツールが増えているにもかかわらず、人と人との関わりが希薄になってしまっているように思います。コミュニケーションの原点ともいえる今回の講演は、非常に心に響くものがありました。

このような機会に恵まれた事に感謝すると共に、皆様の今後にお役立ていただければ幸いです。

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 副会長 加々美 京子

教育相談事業

怒っていると どうなるでしょう？

こんなおもちゃ？をご存知ですか？小さな色とりどりのカプセルでそこにぬるま湯を注ぐとブクブク溶けて中からスポンジ製の動物が現れます。象や豚など、不思議な面白さがあります。ただしどの子どもでも同じように楽しめるわけではありません。まず色でもめます。赤が好きだの青では嫌だの。そして出てくる動物でまためます。象がよかった、豚は嫌い。豚に当たった子はとうとう二つに引きちぎってしまいました。このような場面は我慢したり、交渉する術を学ぶ絶好のチャンスともいえます。しかし怒ったり叩いたり皆がパニックになる絶好の機会でもあるのです。これはいわゆる「グレー」と言われる発達障がい傾向がある小学二年男子の話です。大切なことはパニックにさせないことです。パニックになった脳は発達しません。子どもが成長するとは脳が発達することです。安定した生活の中でこそ発達します。パニックにさせないこと、これが子どもを喜ばすことよりも優先順位が高いのです。



教育相談員
鈴木 敦子 先生
(臨床発達心理士)

- 形態 教育相談に係る講演および幼稚園への出張相談、及び電話相談、面談。
(面談による相談は「ようちえん会館」にて行います。)
- 実施曜日 毎週 火曜日 10:00～12:00
毎週 木曜日 14:30～16:30
巡回相談及び講演(要相談)
- 相談費用 無料
- 相談申込 電話またはホームページから、
神奈川県私立幼稚園連合会事務局へ申込みください。



TEL. 045-440-3210

●ホームページ
<http://www.shinshiyou.com/education.html>